

# 支部だより

## 海の幸一杯の食事

### 楽しい一日バスツアー

#### みなと支部

みなと支部は支部結成2回目のバスツアーを3月15日(日)17人の参加で取り組みました。



大阪屋ひいな湯前で記念撮影

集合場所の老松診療所を9時に出発して、40分余りで小休止。産直市場「よっこつて」泉佐野店へ。「こんなところに野菜・果物が売ってるんや」「新鮮やし安い」と早速買い物が始まりました。目的地である和歌山加太の旅

たまり場開設で勢いに乗る鳳支部は、パッチワークサークル、編み物サークルに続き念願のウォーキング班を立ち上げようと、準備も兼ねて「おおとり道草ウォーキングの会(仮称)」第1回ウォーキングを、4月12日(日)に開催しました。

一斉地方選挙の投票日に何人の方が参加してくれるのか不安でしたが、糖尿病患者会の会長さんを含め、7人の参加がありました。「鳳ともの家ちぐさ」近くの公園でストレッチをし、浜寺公園まで、1.5キロの一直線の一本道。春の陽射しを感じながら気持ちよく歩きました。浜寺公園の桜の見頃は少し過ぎましたが、八重桜が綺麗でした。楽しくおしゃべりしながらのウォーキングは

## 浜寺公園へ満開の桜を見に おおとり道草ウォーキングの会

#### 鳳支部



浜寺公園で記念撮影

## 矛盾だらけの政府方針

### 健康で暮らさなければと痛感

#### 向ヶ丘支部

3月17日(火)西第三地域包括支援センター長の森本さんに来ていただいて、向ヶ丘支部の勉強会を開きました。

介護保険のこれからの使い方、介護サービスの使い方などをお聞きしました。保険料は上がっていくのに、サービスは簡単には受けられない、施設には入居できないなど矛盾だらけの政府の方針に全員怒りの言葉しか出てきませんでした。

さらに頂いた小冊子に目を通すと、これからさき貧乏人は生きていけないかと思つ程大変な世の中が来るのだと思ひ知らされました。出来るだけお互い助け合い、ボランティアできるところはさせてもらつて、健康で暮らしていかなければと痛感しました。刻々変化していく政府の政策などをまた勉強会を重ねていきたいと思ひました。少しでも住みやすい町にするため友の会も協力していきたいと思ひます。

さらに頂いた小冊子に目

(田嶋 修子)

資料に目を通す参加者

## 「世界遺産『平城宮跡』を歩き、いにしへの都に思いを馳せる」 春のハイキングごあんない

同仁会健康づくり委員会主催

世界遺産「平城宮跡」をめぐる約4kmのハイキングです。緑の木々に囲まれ1300年前の都に思いを馳せ、悠久の歴史を感じながら一緒にあるきませんか。

開催日程：2015年6月14日(日)  
集合場所：午前8時45分 耳原総合病院玄関前  
解散場所：午後3時30分頃 耳原総合病院周辺

定員：40名(先着順)  
距離：約4キロ  
コース：平城宮跡資料館～第一次大極殿～遺構展示館～東院庭園～朱雀門  
参加費：1000円(バス代、傷害保険等)  
持ち物：昼食・飲み物・敷き物・雨具など  
対象：友の会会員(当日入会できます)

雨天中止：午前6時55分 NHK気象情報にて「午前の降水確率50%以上」の場合中止とします。

●お申し込み/お問い合わせ  
健康友の会みみはら 事務局 担当(淡路・今村・亀井) 電話 072-244-8061



高野 純子

「お出かけ」読んでいます。遠いのであまり参加もできませんが、今年2月に母、3月

緩和ケアの大切さ  
寝屋川市高柳 野口里子(64歳)

季節の春は間違いなくやってきます。しかし私たちの望む春はじつとしていたりますます国民いじめの命まで脅かす危険な方へと突き進みます。憲法守れ、大阪都構想なるもの不要と、くらしと平和を守る。

くらしと平和を守る  
西区草部 横山由紀子(75歳)

楽しく、次はバラの時期に来ようと計画をしています。鳳地域のみなさん、ぜひご参加ください。(事務局 亀井)

日頃のかかりつけ  
西区家原寺町 坂本美根子(67歳)

近くに堺市総合医療センターが建設中。巨大な建物で医療行政が充実することが望まれますが、日頃のかかりつけ病院はやはり耳原にお世話になります。今後ともよろしく。



宮脇 保子

に父が亡くなりました。病院のありがたさや、緩和ケアの大切さをつくづく思いました。

西区草部 佐藤松子(77歳)

白内障手術で耳原病院を知ることができ、6年前に両股間手術でお世話になりました。旧病院入院中に雨漏りで頭の上に雨が落ち思い出に残っています。今年は喜寿を迎える事ができ元気で歩いています。旧病院での思い出ありがとうございます。

池澤たま子



新病院には行ってみたい  
西区浜寺元町 日浦義夫(71歳)

昨年11月に前立腺の手術で約10日入院。看護師さんらの対応の良さに感心。今では回復をよろこんでいる。病気はいやだが新病院にはいつてみたい。

希望がわいてくる  
大阪市住之江区 上田忠嗣(68歳)

新病院見学してみたい。人間の心がやすらぎ、病院なのに希望がわいてくるような所でした。